

▼別ショットの写真



今月の表紙は、5月18日に大草保育園で行われた避難訓練での1枚です。園長先生のアナウンスを合図に机の下へ入り落下物から身体を守り、揺れが止んだ後、先生の誘導で園庭への避難を実施していました。

今月の表紙

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課広報広聴グループ
☎62-1111 (内線334) FAX63-5139
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

紙画研究会 ちぎり絵



私たち紙画研究会は、会員10人ほどの小さなクラブです。教室は幸田文化公園にあるさくら会館で1か月に1回、第3金曜日の午前9時30分～正午に行っています。「絵心が無いと作品は作れないでしょう」とよく聞かれますが、先生が持ってみえる習作(教材)を使って、先生の指導を受けることのできるようになりました。一つの作品の中にさまざまな色の和紙が重なっており、どの和紙を使おうかと楽しくなります。

また、春と秋にある幸田文化協

会の文化展に作品を出品しています。その際には旅行したときの風景写真を画題にした作品を作って楽しんでます。写真をもとに作品を作ることで旅行での思い出がさらにすてきなものになります。

私たちのクラブは、気心の知れた仲間楽しく活動しています。皆さんも一緒に和紙の魅力を味わってみませんか。参加をお待ちしています。

紙画研究会ちぎり絵 代表 成瀬佐知子
問合せ ☎63-5688 (幸田文化協会事務局)

サークル紹介

この指
とーまれ
154

みんなの作品展!

平成28年度幸田文化協会春の文化展(書道)からのセレクトです。



しみず さいうん
清水 彩雲 さん



やまもと えいげつ
山本 映月 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入の上、広報広聴グループまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

今月の記念日

6月29日は「つくた煮の日」

全国には、それぞれ郷土色豊かな自慢の料理や名産品があります。佃煮もその一つです。

佃煮発祥の地の守り神として東京・佃島の住吉神社が旧暦の6月29日に建立されたことや、「つくた煮の日」が2004年に制定されました。毎年「つくた煮の日」を含む6月には、販売促進の一環として佃煮メーカーによる「つくた煮の日」キャンペーンが実施されます。

佃煮は、小魚、貝類、野菜、海藻などを、しょう油、水飴、砂糖を中心とした調味料で煮つめた日本古来の保存食品です。佃煮は保存性が高く、よく加熱されたものが多いので、安心して食べられます。佃煮は贈答品としても人気がありますが、すでに江戸時代から、武士たちが江戸みやげとして持ち帰っていたそうです。

長い歴史を通して、日本の食生活に大切な役割を果たしてきた佃煮。グルメや飽食といわれる時代に、あらためて佃煮の良さが見直されています。

* 参考資料：全国調理食品工業協同組合 <http://www.zenchoshoku.or.jp/>



青春
青春
トークリレー

△△第279走者△△

ひらいわ ともや
平岩 朋也 さん

坂崎区在住 21歳

職業 大学生 血液型 O型

身長 170cm

好きな芸能人 菊池亜希子

初めましてこんにちは。私は現在、県内の大学に通う4年生です。このごろは皆顔を合わせれば、就職活動の話ばかりですが、私は自分の趣味についての話をさせていただきます。

大学に入って1年が経ったときにスポーツ型の自転車を購入しました。初めは自宅から駅までの通学手段として利用していましたが、一緒にサイクリングする友人が増えたことから、今では自転車を車に積み遠出した現地に乗るようなことも多くなりました。今年は、夏に琵琶湖周辺を巡ろうと思っています。残り少ない学生生活ですが、悔いのないよう全力で日々を送ります。



はろー
キッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
企画政策課まで。
本人のご家族にお渡しできます。



環境だより VOL.31

生ごみ処理容器等購入補助金制度をご活用ください！

幸田町から排出される燃やすごみの約4割を生ごみが占めています。生ごみは水分が多く、臭いもあるため、ごみステーション、収集作業、焼却処理など多くの問題を抱えています。しかし、生ごみは「優良な資源」でもあります。汚い臭いと思っていた生ごみも処理容器などを活用すれば堆肥となり、家庭菜園やガーデニングに利用でき、ごみ出しも楽になります。

幸田町では、一般家庭から排出される生ごみを減量・堆肥化するため、容器または機器を設置いただいた人に対し、補助金を交付しています。ぜひご活用ください。

対象

町内在住で、生ごみ処理容器等を町内に設置された人

補助金額

購入額の2分の1（100円未満の端数切り捨て）

補助限度額

- ・処理容器（コンポスト、ぼかし容器）1基6,000円
- ・電気式処理機1基30,000円

販売店

日用雑貨・園芸用品取扱店、家電量販店

その他

- ①初回購入に対する補助は、1世帯につき処理容器は2基、処理機は1基まで。
- ②必ず購入日後、60日以内に申請してください。（領収書など添付）
- ③以前この制度を活用し設置した生ごみ処理容器や電気式処理機が3年を経過し、損傷などで買い替えた場合については、この回限りで補助制度を活用することができます。



問合せ 環境課 ごみ対策グループ（内線273）

普通に歩いているだけなのにふくらはぎをつりそうになることがある編集者のKです。
今月号は、なんと編集者もびつくりの記念すべき900号。ということもあり、情報あらかるとのコーナーが以前は横書きで裏表紙から読む形式になっていたものを表紙から続けて読めるように縦書きへリニューアルしました。中身はいつもとあまり変わりませんが、次回記念すべき1000号の時にはきっと、何かが、もしかしたら...。
そんなわけで、春の陽気はいつものまにか過ぎ去り、汗ばむ季節がやってきました。5月14日に行われた中学校春季体育大会では、各競技で熱戦が繰り広げられました。気温も高く屋外での写真撮影を長時間続けると熱中症で倒れそうだったので、一歩手前で退却しました。毎日練習している中学生たちは平気そうでしたが、暑くなり始めるこの時期は、真夏よりも気温は低いものの、体が慣れていないため熱中症などの症状を引き起こしやすいそうです。こまめに水分補給をしたり、日陰に入るなどして予防に努めましょう。それでは、小学校の運動会、消防団の競練会でお会いしましょう。(K)

